



Graduate School of

Humanities

教養デザイン研究科

教養の新しい意義と形を 創造（デザイン）する

教養デザイン研究科は、2008年度に「人間性とその適正な環境の探求」を教育研究の目標として開設した、新しい教養系の研究科です。研究分野として、「思想」、「文化」、「平和・環境」の3コースを設置しています。

教養デザイン研究科の特色は次の3点にあります。

第1には、複数の教員が学際的な研究指導にあたり、1つの専門領域だけに偏らない総合的な研究指導を行っています。第2には、大学院の国際化に対応して、教育研究における国際的な連携を深め、海外へと開かれた研究科を目指しています。また、海外指定校制度を設け、本学の海外協定校から優秀な留学生を受け入れています。第3には、社会人に対して広く門戸を開放していることです。大学卒業後、それぞれの社会経験から得た学問的テーマの探求を希望する社会人を受け入れ、生涯学習社会に積極的に対応しています。



教養デザイン研究科
Webページ

<https://www.meiji.ac.jp/humanity/index.html>



入学者の受入方針
（アドミッション・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_op.html



教育課程編成・実施方針
（カリキュラム・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_cp.html



学位授与方針
（ディプロマ・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_dp.html

大学院事務室（和泉第一校舎1F）

※事務取扱時間（開室時間）はHPで確認してください。

電話●03-5300-1529 Mail●humanity@mics.meiji.ac.jp

※休業期間やイベント等により開室時間は変更となる場合があります。

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

教養デザイン研究科

教養デザイン研究科は、21世紀において人類が直面している諸課題を総合的・学際的に考察し、公共的観点に立って主体的に行動することのできる人材の養成を目指す。教育研究のテーマは「人間性とその適正な環境の探求」と、新時代にふさわしい「知の創造（デザイン）」である。博士前期課程では、科学技術の飛躍的発展によって生じた倫理的諸問題、グローバル化が進む現代世界における異文化理解、脱領域化状況の中での平和構築、自然環境との共生、これらの諸問題を総合的に考察し、解決へと導くことのできる高度な教養人の育成を目的とする。博士後期課程では、思想、文化、平和・環境の三つの領域において、自立した研究者の育成を目的としている。課程博士論文の作成に力点を置き、研究業績の蓄積を促進することによって、大学教員など研究職において活躍できる人材の育成を目的とする。

教養デザイン専攻

教養デザイン専攻では、人類が直面する諸課題を包括的に探究するため、「思想」、「文化」及び「平和・環境」の3つの領域研究コースを設置している。文理を融合し、総合化された知の創造と現代社会における新たな倫理の探求を目指す。博士前期課程では、科学技術の著しい発展、グローバル化の到来など、激変する現代社会において、生涯学習をも視野に入れて、高度な教養をデザイン（創造）できる人材の養成を目指す。博士後期課程では、博士前期課程で身につけた知識を活かしながら、更に自立して研究活動を行える人材の養成を目指す。

●● 教育課程編成の考え方・特色

教養デザイン研究科は、「人間性とその適正な環境の探求」をテーマとして、哲学・倫理学などの人文科学、法学・政治学などの社会科学、環境科学・生命科学などの自然科学の各分野から専門家を集めて教員とし、カリキュラムを組みました。学生は、次の3つのコースのうち、1つを選択することになります。

「思想」領域研究コース

現代社会を読み解く鍵となる哲学・倫理・宗教について、グローバルかつアクチュアルな視点から考察していきます。また、現代倫理や現代思想に関する多面的研究にも取り組んでいます。

「文化」領域研究コース

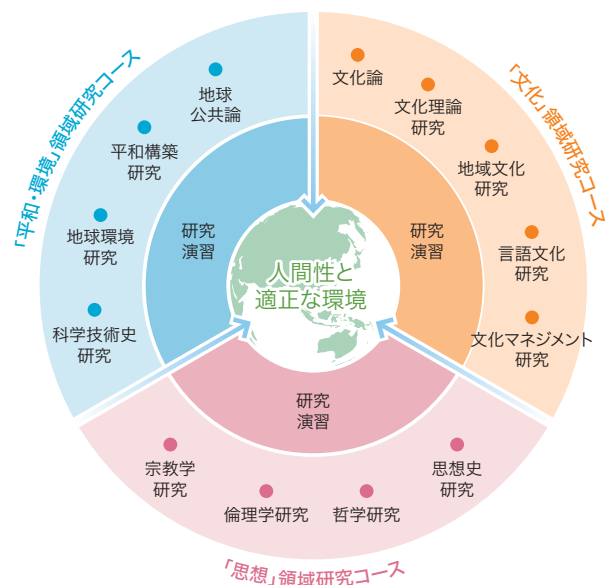
人間性の発現として文化を捉え研究します。共生社会における異文化理解ということを中心に、マイノリティの文化にも焦点をあて、文化マネジメントといった分野にも取り組んでいます。

「平和・環境」領域研究コース

戦争・紛争と平和構築の問題、経済開発や貧困問題と平和の問題、また自然との共生の問題を中心に研究します。民族紛争、環境との関わり、科学技術と安全性の問題などを、幅広い視点で研究しています。

これらのコースは、他の領域研究コースの科目も取り込んだきわめて学際的な研究が行えるよう設計されています。

カリキュラム概念図



カリキュラム一覧

博士前期課程

共通必修科目	
論文作成特論	佐藤 公紀

【「思想」領域研究コース】

コース必修科目	
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	岩野 卓司
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	釜崎 太
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	澤井 和彦
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	西川 和孝
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	本間 次彦
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	井上 善幸
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	伊藤 剣
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	田中 ひかる

コース選択科目	
思想領域研究特論Ⅰ（贈与論）	岩野 卓司
思想領域研究特論Ⅱ（ジェンダー論の基礎）	高峰 修
思想領域研究特論Ⅲ（自己を省みる、自己について語る）	澤田 直
思想領域研究特論Ⅳ（現代社会とスポーツ）	釜崎 太
思想領域研究特論Ⅴ（中国西南地域の歴史）	西川 和孝
思想領域研究特論Ⅵ（スポーツ政策とビジネス）	澤井 和彦
思想領域研究特論Ⅶ（運動生理学）	一之瀬 真志
思想領域研究特論Ⅷ（ヘルスコミュニケーション）	宮脇 梨奈
思想史領域研究特論Ⅰ（イメージの解体学）	井上 善幸
思想史領域研究特論Ⅱ（日本政治思想史（17～19世紀））	本間 次彦
思想史領域研究特論Ⅲ（日本古代の社会と文学）	伊藤 剣
思想史領域研究特論Ⅳ（キリスト教美術史）	瀧口 美香
思想史領域研究特論Ⅴ（自己究明の諸相）	美濃部 仁
思想史領域研究特論Ⅵ（近現代の社会変革思想）	田中 ひかる

博士後期課程

共通選択科目	
現代教養総合研究Ⅰ	中村 和恵
現代教養総合研究Ⅱ	丸川 哲史

【「思想」領域研究コース】

コース必修科目	
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	岩野 卓司
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	本間 次彦
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	井上 善幸
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	釜崎 太
コース選択必修科目	
思想領域特別研究	岩野 卓司
思想史領域特別研究	美濃部 仁
思想史領域特別研究	本間 次彦
思想史領域特別研究	釜崎 太

【「文化」領域研究コース】

コース必修科目	
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	広沢 絵里子
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	鈴木 哲也
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	畑中 基紀
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	神田 正行
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	嶋田 直哉
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	虎岩 直子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	池田 功
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	加藤 徹
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	山岸 智子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	丸川 哲史
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	佐久間 寛
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	前田 更子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	ネルソン、リンジー-R.

コース選択科目	
文化論研究特論Ⅰ（比較文化研究）	中村 和恵
文化論研究特論Ⅱ（現代文化へのアプローチ）	山岸 智子
文化論研究特論Ⅲ（フィールドワークと民族誌）	佐久間 寛
文化論研究特論Ⅳ（映画論）	ネルソン、リンジー-R.
文化理論研究特論Ⅰ（日本語表現論）	黒崎 典子
文化理論研究特論Ⅲ（近代日本文学）	畑中 基紀
文化理論研究特論Ⅳ（日本古典文芸）	神田 正行
文化理論研究特論Ⅴ（自伝理論）	広沢 絵里子
地域文化研究特論Ⅰ（現代文化研究）	嶋田 直哉
地域文化研究特論Ⅱ（中国語圏）	加藤 徹
地域文化研究特論Ⅲ（英語圏）	虎岩 直子
地域文化研究特論Ⅳ（ドイツ語圏）	佐藤 公紀
地域文化研究特論Ⅴ（フランス語圏）	前田 更子
地域文化研究特論Ⅵ（その他語圏）	薩摩 秀登
言語文化研究特論Ⅰ（言語論と批評理論）	鈴木 哲也
言語文化研究特論Ⅱ（スペインの名著）	大楠 栄三
言語文化研究特論Ⅲ（東アジア歴史文化比較論）	丸川 哲史
文化マネジメント研究特論（芸能と国家・社会）	中村 雅之

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

【「平和・環境」領域研究コース】

コース必修科目	
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	鳥居 高
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	佐原 徹哉
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	廣部 泉
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	羽根 次郎
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	森永 由紀
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	浅賀 宏昭
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	石山 徳子

コース選択科目	
地球公共論研究特論Ⅰ（アジア太平洋地域の国際関係）	上村 威
地球公共論研究特論Ⅱ（自然環境）	森永 由紀
平和構築研究特論Ⅰ（朝鮮半島と世界平和）	李 英美
平和構築研究特論Ⅱ（戦前の日本と世界）	廣部 泉
平和構築研究特論Ⅲ（人民民主論）	羽根 次郎
平和構築研究特論Ⅳ（経済発展論）	鳥居 高
平和構築研究特論Ⅴ（比較ジェノサイド論）	佐原 徹哉
地球環境研究特論Ⅰ（自然環境）	森永 由紀
地球環境研究特論Ⅱ（先端生命科学技術）	浅賀 宏昭
地球環境研究特論Ⅲ（環境と社会）	石山 徳子
科学技術史研究特論（科学と社会）	勝田 忠広

コース選択科目	
平和構築特別研究	鳥居 高
平和構築特別研究	羽根 次郎
地球環境特別研究	森永 由紀
地球環境特別研究	浅賀 宏昭
科学技術史特別研究	勝田 忠広

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム

教養デザイン研究科では、2009年度より新しい教育プログラム「映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム（略称：映像資料プログラム）」を実施しています。異文化理解や環境問題あるいは紛争や貧困など平和に関する問題への理解を深めるため、ドキュメンタリーなど映像資料を活用するプログラムです。しかし、映像資料にも限界があるために、プログラムでは映像資料の上映と併せて監督やプロデューサーをお呼びし、作った側と見る側が

映像を挟んで、実際に「キャッチボール」することによって、複眼的な思考や視点を醸成することを目的にしています。また教養デザイン研究科は学際的研究をその特徴としており、映像資料について、思想的側面から、文化的側面から、さらには社会経済的側面から見ることによって、それぞれの視点を「交差」させていくおもしろさを体験することをねらいとしています。



「映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム」一覧

（講師の肩書きはプログラム実施当時のものです）

テーマ・映像タイトル	講師	開催月
平島来訪 稲垣尚友をめぐる作品、映像、対話	稲垣 尚友（作家、竹細工職人）	2024年11月
//自由展—東京朝鮮中高級学校美術部の試み—	会田 誠（アーティスト）、沖 啓介（メディア・アーティスト）、姜 泰成（朝鮮大学校美術科教員）、崔 誠主（東京朝鮮中高級学校美術部顧問）	2024年10月
女もすなるフィールドワーク 研究という冒険	笹倉 いる美（北海道立北方民族博物館学芸主幹）	2024年 6月
みんな、版画家だった!? —戦後版画運動の成り立ちと起源	<資料展示のみ>	2023年11月
社会の闇を照らし出すために——樋口健二写真展と映画上映	永田 浩三（武蔵大学教授）、樋口 健二（写真家）	2023年10月
僧侶からなる楽隊「坊主バンド」	藤岡 善信（浄土真宗本願寺派僧侶／「坊主バンド」リーダー）	2023年10月
霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～	張 春祥 （一般財団法人日本京劇振興協会代表理事・新潮劇院主宰）	2023年 3月
芸術人類学の扉を開く	石倉 敏明（秋田公立美術大学複合芸術研究科・美術学部准教授）	2022年11月
京都を舞台にした『嵐電』プロデューサーが語る「映画の仕事先をしよう」	西田 直善（映画プロデューサー）	2022年11月

特定課題講座

本研究科では、毎年、「特定課題講座」を開催しています。これは学内外の教員、院生、一般の方による知的・文化的交流をはかるものです。本研究科にはさまざまな専門分野の研究者が集まっているため、本講座ではその多様性を生かしながら、幾人もの専門家がひとつの主題について共同でアプローチしていきます。それにより参加者は、物事がいかに多面的な性格をもっており、それがお互いに密接に関連しているということを発見できるのです。

「ポストコロナと現代演劇」（2024年度）

パネリスト：野田学、鳩羽風子、橘涼香（当日発表順） コーディネーター・司会：嶋田直哉

本研究科では2024年10月21日、特定課題講座（地域環境と人）としてシンポジウム「ポスト・コロナと現代演劇」を開催しました。コロナ禍（2020～23）を経て、現代演劇をめぐる環境は大きく変化しました。オンライン配信の定着により、スマホでも舞台作品を気軽に鑑賞できるようになりました。しかし、物価上昇によるチケット代金の上昇は逆に実際に劇場で舞台を鑑賞することを遠ざけてしまいました。また複数の団体ではハラスメント問題が浮上し、制作現場では適正なパワーバランスが求められるようになりました。

本シンポジウムでは現代演劇批評で活躍する3人をパネリストとしてお呼びし、このような現代演劇にまつわる諸問題についてお話し頂きました。当日はパネリストからコロナ禍の時期に実際に上演された演劇作品について、現在進行形で起きているハラスメント問題の対策について、観客を呼び込む（呼び戻す）ための制作者側のありかたについてなど、様々な切り口から多くの問題が提起されました。そして、これらの問題を聴衆の皆さんと質疑応答をまじえて一緒に考えました。現代演劇を振り返る貴重な機会となりました。



2023～2024年度 修士論文テーマ

■「思想」領域研究コース

- ▶ Jリーグの地域・社会貢献活動に関する研究
—パットナムのコミュニティ論の視点から—
- ▶ 戸畑「提灯山笠」に見る近代日本の地方都市と身体
—祭礼・民衆・国家—
- ▶ メディア・スポーツのリアリティ
—「ヴァーチャル社会」論からの考察—
- ▶ バイエール04レバークーゼンの歴史社会学
—企業スポーツの組織原理としてのアソシエーション—
- ▶ 中国在住の性的少数者の自己認識と権利意識が形成された要因について
- ▶ スポーツ報道に見る理想的・認識的ナショナリズム
—日本代表の躍進による変容と同化主義—
- ▶ 媽祖信仰の広がり与中国の伝統社会
—明清時代を中心として—

■「文化」領域研究コース

- ▶ 日本の化け猫像の変遷をめぐる考察
—ヴィジュアル作品を中心に—
- ▶ 日本人留学生の異文化コミュニケーション能力に関する考察
- ▶ 山村文学における外省人の「郷愁」というトラウマについて
- ▶ 周兄弟における「民間」と「伝統」
—日本からの触発と独自の文脈—
- ▶ 映像作家蔡明亮長編作品における「移動」について
- ▶ 華人映画にかかわるイデオロギー現象の分析
—2018年金馬奨事件を手がかりとして—
- ▶ 中上健次における〈音楽〉の形象について
- ▶ 日本文学における吃音障がいの研究
—小島信夫「吃音学院」と三島由紀夫「金閣寺」について—
- ▶ 「生命の島」の民族誌
—脱植民地化と「自前の文字」の夢—
- ▶ 『オズの魔法使い』の女性像再考
—ボームの『オズの魔法使い』からMGMの『オズの魔法使』—
- ▶ 民権主義再考
—1924年における孫文の階級連帯主義を中心に—
- ▶ 中国山西「社火」の歴史と現状
—世界の無形文化遺産保護との比較研究—
- ▶ 武士道精神についての考察
—現代創作作品を中心に—
- ▶ 川口市の言語景観分析
—多文化化とのかかわりに着目して—
- ▶ 日中における2010年代のヒーロー像を比較する
—『ドラゴンボールZ 神と神』と『西遊記ヒーロー・イズ・バック』を中心に—
- ▶ 日米における映画検閲に関する研究
—プロダクション・コードの緩和と旧映倫の改組およびレイティングシステムの導入—

■「平和・環境」領域研究コース

- ▶ 中国共産党の衛生事業とその社会的契機
—革命根拠地時期から1950年代前半の歴史を中心—
- ▶ 日本のすしに関する研究
—にぎりずしの栄養と機能性ならびにマグロとサーモンのフードシステムを中心に—
- ▶ 民間軍事会社と政治性
—トルコの民間軍事会社SADATの分析を通じて—
- ▶ 両大戦間期太平洋地域における女性たちのつながり
—太平洋問題調査会と汎太平洋婦人会議を中心に—
- ▶ 琉球における「藩」号と日琉関係についての研究
—1855年琉仏「条約」と1872年琉球藩設置—

近年の博士学位授与

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(学術)	行動する知識人・橋樑 一大正生命主義と中国経験—	2019年度
博士(学術)	谷川雁の反定型音響 —「工作者」のダイナミズムについて—	2020年度
博士(学術)	アンヌ・エペールのケベック —視線の舞台から風景へ—	2020年度
博士(学術)	日本と中国のテレビCMの広告表現における共通要素の研究 —比較文化論の観点から—	2021年度
博士(学術)	日本語オノマトペの仏語訳研究 —宮澤賢治童話を資料として—	2021年度
博士(学術)	石川啄木の受容 —日本統治期の台湾を例に	2023年度
博士(学術)	中国近代文学における石川啄木の受容	2023年度
博士(学術)	英米のSF映像作品に潜在する資本主義のイデオロギー —ロボット・AI・サイボーグVS人間という対立—	2024年度

院生からのメッセージ



藤田 健生

FUJITA Kensei

教養デザイン専攻
平和・環境領域研究コース
博士前期課程 2年

多様性に満ちた環境で豊かな知を形成する

現在、私たちはさまざまな社会問題に直面しており、それらの問題を読み解くには、一つの学問領域だけではなく、複数の視点からのアプローチが不可欠です。私の研究テーマである、人権と教育でも同様です。法学、社会学、政治学など、学問領域にとらわれない、多角的な視点から研究を行っています。教養デザイン研究科は、異なるバックグラウンドを持つ先生方や院生の集まる、多様性に富む、刺激的な学びの場です。授業や院生たちとの交流で、自分の中にはない発想や知識に出会うことができます。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 石山 徳子 教授

石山先生の専門は、批判地理学、アメリカ先住民研究であります。特に核をはじめとした環境正義に取り組んでおられます。先生の専門領域と私の研究領域は、必ずしも一致しませんが、毎回の授業で課題を設定し、ディスカッションを行い、先生の幅広い知識から助言をいただくことで、研究を進めるうえで有意義な時間になっています。

教員情報 P.106



大槻 茂久

OTSUKI Shigehisa

教養デザイン専攻
思想領域研究コース
博士後期課程 2年

スポーツの諸問題を複眼的な視点で考える

博士前期課程では「日本とドイツのサッカー選手の注意様式について」心理学の視点から研究しました。その後15年以上にわたり女子サッカーの指導に携ってきました。博士後期課程では「ドイツにおけるサッカーの男らしさとジェンダー秩序について」哲学的・社会的な視点から研究しています。教養デザイン研究科は「思想」「文化」「平和・環境」の3つのコースからさまざまな研究領域の授業を履修できるので、研究者としての教養を広げ複眼的視点から物事を考えることができる魅力的な空間です。

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事している教員は？ A 金崎 太 教授

金崎先生はドイツスポーツの専門家であり身体や教育にも広い知識を持っています。それらの知識を院生に分かりやすく話してください。現在は10人の院生がゼミに所属していますので、みんなで議論しながら研究に取り組むことができます。また、さまざまな勉強会、学会、スポーツのイベントに参加したりと、メリハリのある楽しい研究室です。

教員情報 P.104

修了生からのメッセージ



氏原 貴充

UJIHARA Takamitsu

教養デザイン専攻
文化領域研究コース
博士前期課程
2025年3月修了

「教養」を問い直す

わたしは卒業論文の調査で屋久島を訪れ、『生命の島』という地方誌に出会い、同誌を文化人類学的に研究するために進学しました。修士論文では同誌を人と自然の総体としての屋久島が文化的かつ生態的に脱植民地化するための運動として位置づけました。本研究科ではそのために必要な知識を学際的に学ぶことができました。大学院進学は決して簡単なものではないと思います。しかし、今現在の世界に違和感を覚えている方、研究という営みを通して世界を変えたい方はぜひ検討してみてください。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事していた教員は？ A 佐久間 寛 准教授

人が師と呼べる人物に出逢うことは難しいものだと思います。しかし、わたしの指導教官である佐久間さんは、わたしにとってまさしくそう呼べる人物でした。佐久間さんからは「なぜ」ではなく「いかに」を問うこと、現場の声を大切にすることなどたくさんを学びました。特に奪われた者の声を聞くことにはこれからも向きあい続けたいと思います。

教員情報 P.105



李 夢秋

LI Mengqi

教養デザイン専攻
文化領域研究コース
博士後期課程
2025年3月修了

自分のあり方に相応する研究のかたちができる場所

私は英米のSF映像作品に関する研究を行っています。修士の頃、私は現代の異類婚姻譚の東西比較研究をテーマにしていました。このような研究テーマの転換がうまくできたのは、教養デザイン研究科の先生方の指導のおかげです。ここでは、自らの研究を見直しながら、学際的・専門性の高い研究ができる環境を用意しています。現代社会では、私たちは多次元の感覚から世界を認識し、共感している中、きっと何かの疑問が生じるだろう。その答えを探るなら、ぜひ進学して一緒に研究の旅に出よう！

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事していた教員は？ A 加藤 徹 教授

加藤先生は、中国の京劇および日中文化比較研究を中心に研究を展開しています。ゼミ生の中には、サブカルチャー・ポップカルチャーを研究対象にしている方も多いです。加藤先生は、学生自身の興味にもとづく研究を応援し、そのテーマにふさわしい指導をしていただけます。研究の苦しさはもちろん、楽しさも味わうことができます！

教員情報 P.105

教員一覧

「思想」領域研究コース

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 「思想」領域研究コース 教員一覧 >>>





岩野 卓司
IWANO Takuji

Ph.D.
教授

研究分野 哲学／思想史／日本思想／暴力の系譜学／言語と政治

【最終学歴】東京大学大学院／パリ第4大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅰ
【研究テーマ】思想史における暴力の解釈／共同体と共同性の研究／哲学・宗教・人類学における贈与論／日本思想史



釜崎 太
KAMASAKI Futoshi

博士(教育学)
教授

研究分野 身体教育論／ドイツスポーツ研究

【最終学歴】広島大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅳ
【研究テーマ】市民社会とプロスポーツ及びスポーツクラブの関係／メディア・身体を中心としたスポーツ研究



澤井 和彦
SAWAI Kazuhiko

博士(教育学)
准教授

研究分野 スポーツの制度、トップスポーツのマネジメント、企業スポーツ、スポーツの社会的インパクト、アスリートのキャリアトランジション、eスポーツ、スポーツ共創

【最終学歴】東京大学大学院教育学研究科博士課程
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅵ
【研究テーマ】スポーツの制度、トップスポーツのマネジメント、企業スポーツ、大学スポーツ、スポーツの社会的インパクト、アスリートのキャリアトランジション、eスポーツ、スポーツ共創



西川 和孝
NISHIKAWA Kazutaka

博士(史学)
准教授

研究分野 中国西南地域の社会経済史

【最終学歴】中央大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅴ
【研究テーマ】雲南省における漢族移民の歴史



井上 善幸
INOUE Yoshitake

教授

研究分野 ヨーロッパ文学と思想／視覚芸術／サミュエル・ベケット／西洋精神史

【最終学歴】関西大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅰ
【研究テーマ】モダニズム文学／ヨーロッパ精神史



本間 次彦
HONMA Tsuguhiko

教授

研究分野 中国前近代思想

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅱ
【研究テーマ】帝政後期中国の思想状況に対する多角的分析(文学・宗教なども含む)



田中 ひかる
TANAKA Hikaru

博士(社会学)
教授

研究分野 社会思想史／社会運動史／ドイツ近現代史／アナキズム史／移民史

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅵ
【研究テーマ】アナキズム史、国境を越える人々が作り出す思想と社会運動



伊藤 剣
ITO Ken

博士(文学)
教授

研究分野 日本古典文学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅲ
【研究テーマ】文学研究の立場から見た日本古代の神話の研究



瀧口 美香
TAKIGUCHI Mika

Ph.D.
准教授

研究分野 ビザンティン美術史／キリスト教図像学

【最終学歴】ロンドン大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究特論Ⅳ
【研究テーマ】ビザンティン写本挿絵／初期キリスト教聖堂舗床モザイク／ビザンティン聖堂フレスコ壁画



一之瀬 真志
ICHINOSE Masashi

博士(学術)
教授

研究分野 運動生理学

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】思想領域研究特論Ⅶ(運動生理学)
【研究テーマ】運動時の循環・呼吸・代謝の調節／反射性循環調節／運動と健康

「文化」領域研究コース

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 「文化」領域研究コース 教員一覧 >>>





広沢 絵里子
HIROSAWA Eriko

教授

研究分野 ドイツ文学／自伝研究

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅴ
【研究テーマ】精神分析と自伝／ドイツ語圏の文化



鈴木 哲也
SUZUKI Tetsuya

教授

研究分野 言語社会学

【最終学歴】英国リーズ大学大学院
【担当授業科目】文化理論研究演習／言語文化研究特論Ⅰ
【研究テーマ】コミュニケーション・テクノロジーの発達と社会構造の変化の相関性



嶋田 直哉
SHIMADA Naoya

博士(文学)
教授

研究分野 日本近代文学／日本現代演劇研究

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】文化理論研究演習／地域文化研究特論Ⅰ
【研究テーマ】永井荷風研究／日本現代演劇研究



畑中 基紀
HATANAKA Mutsuki

教授

研究分野 近代日本文学・表現論

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅲ
【研究テーマ】物語芸術におけるリアリティの構造



神田 正行
KANDA Masayuki

博士(文学)
教授

研究分野 日本近世文学(散文)

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅳ
【研究テーマ】日本文芸と中国文芸の交渉



虎岩 直子
TORAIWA Naoko

Ph.D.
教授

研究分野 現代アイルランド文学／イギリス諸島とカナダの文化

【最終学歴】東京大学大学院／Sussex University
【担当授業科目】地域文化研究演習／研究論文指導
【研究テーマ】現代アイルランド社会と文学／トランスレーション論／パブリック・アート



池田 功
IKEDA Isao

博士(文学)
教授

研究分野 日本近代における文学と文化及び社会

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究演習／研究論文指導
【研究テーマ】日本近代の文芸研究／病と人間の文化研究／死生観の研究／石川啄木研究



加藤 徹
KATO Toru

教授

研究分野 中国伝統演劇(京劇)／中国文化

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究演習／地域文化研究特論Ⅱ
【研究テーマ】中国の文化を、日本社会との比較という視点もふまえて研究



山岸 智子
YAMAGISHI Tomoko

博士(学術)
教授

研究分野 イラン地域研究／文化論

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】文化論研究特論／地域文化研究演習
【研究テーマ】イスラームとグローバル化の諸問題、イメージとイデオロギの関連性、など



丸川 哲史
MARUKAWA Tetsushi

博士(学術)
教授

研究分野 東アジア思想・文化論

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究演習／言語文化研究特論Ⅲ
【研究テーマ】20世紀文化と知識人



前田 更子
MAEDA Nobuko

博士(史学)
教授

研究分野 フランス近現代史・地域研究(フランス)

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究演習／地域文化研究特論Ⅴ
【研究テーマ】近代フランスの教育とカトリシズムに関する社会史的研究



佐久間 寛
SAKUMA Yutaka

博士(学術)
准教授

研究分野 文化人類学／アフリカ地域研究

【最終学歴】東京外国語大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究演習／文化論研究特論Ⅲ
【研究テーマ】負債をめぐる民族誌学的研究、フランス語圏アフリカの文化研究



中村 和恵
NAKAMURA Kazue

教授

研究分野 比較文学・比較文化／英語圏文学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】文化論研究特論Ⅰ
【研究テーマ】旧英領植民地を中心とする非西洋圏の文化・文学の比較研究、少数者の目に関心がある



ネルソン, リンジー R.
NELSON Lindsay R.

博士
准教授

研究分野 現代日本映画、日本ポップカルチャー

【最終学歴】The University of Southern California
【担当授業科目】地域文化研究演習／文化論研究特論Ⅳ
【研究テーマ】現代日本ホラー映画とニューメディア、日本映画と「家」の概念、動画論文



佐藤 公紀
SATO Kiminori

博士(学術)
専任講師

研究分野 ドイツ・ヨーロッパ近現代史／現代ドイツ政治

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究特論Ⅳ
【研究テーマ】19世紀後半～20世紀前半のドイツにおける刑罰制度・犯罪生物学・釈放者扶助の歴史的展開／現代ドイツの右翼ポピュリズム



薩摩 秀登
SATSUMA Hideto

博士(社会学)
教授

研究分野 西洋中・近世史／東欧史

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】地域文化研究特論Ⅵ／文化理論特別研究
【研究テーマ】東欧の中・近世における政治および社会構造と文化

「平和・環境」領域研究コース

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 「平和・環境」領域研究コース 教員一覧 >>>



鳥居 高

TORII Takashi

教授

研究
分野

多民族国家における政治・経済システムの研究

【最終学歴】中央大学
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論Ⅳ
【研究テーマ】多民族国家の社会安定装置について、市民権、政党、選挙、経済テクノクラートなどに焦点を当てている



佐原 徹哉

SAHARA Tetsuya

博士(文学)
教授

研究
分野

東欧現代史・中東現代史・紛争研究

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】平和構築研究演習／研究論文指導
【研究テーマ】民族問題、テロリズム、難民問題、紛争研究



廣部 泉

HIROBE Izumi

Ph.D.
教授

研究
分野

日米関係史／地域研究(アメリカ合衆国)

【最終学歴】ハーバード大学大学院
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論Ⅱ
【研究テーマ】日米中関係、グローバルヒストリー、米国史、日本近現代史



羽根 次郎

HANE Jiro

博士(学術)
教授

研究
分野

中国近現代史／現代中国論

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論Ⅲ
【研究テーマ】中国概念の史的研究／中国共産党史／清末台湾史



森永 由紀

MORINAGA Yuki

博士(理学)
教授

研究
分野

気候学・環境科学

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】地球公共論研究特論Ⅱ／地球環境研究特論Ⅰ
【研究テーマ】モンゴル国のアイラグ(発酵馬乳)の気候学的研究



浅賀 宏昭

ASAGA Hiroaki

理学博士
教授

研究
分野

学際生命科学ならびに生命科学教育

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】地球環境研究演習／地球環境研究特論Ⅱ
【研究テーマ】「動物細胞の機能に関する研究」および「バイオテクノロジーの社会実装に関する研究」ならびに「生命科学実験教材の研究」



石山 徳子

ISHIYAMA Noriko

Ph.D.
教授

研究
分野

地理学／地域研究(アメリカ合衆国)

【最終学歴】ラトガース大学大学院
【担当授業科目】地球環境研究演習／地球環境研究特論Ⅲ
【研究テーマ】環境正義問題。特に、核開発と植民地主義、経済格差、人種差別との関係について



上村 威

UEMURA Takeshi

博士(国際関係)
准教授

研究
分野

国際関係論、中国研究、中国外交

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】地球公共論研究特論Ⅰ
【研究テーマ】国際関係理論の視点から、中国をはじめとする国家の対外関係について考察する



勝田 忠広

KATSUTA Tadahiro

博士(工学)
教授

研究
分野

使用済核燃料管理／プルトニウム処分問題

【最終学歴】広島大学大学院
【担当授業科目】科学技術史研究特論／科学技術史特別研究
【研究テーマ】原子力・核燃料サイクル政策／原子力安全規制